

ネブライザー療法における抗生物質の 濃度差による治療効果の検討

名古屋市立大学耳鼻咽喉科

小山賢吾

抗生物質の濃度差による治療効果を検討するために、ジベカシン（1回量5mg, 10mg, 20mg）を用い名古屋市立大学病院耳鼻咽喉科をはじめ関連15施設において治療効果を比較検討した。対象は、慢性副鼻腔炎及び慢性副鼻腔炎急性増悪症の患者92名であった。超音波式吸入器を使用し、自覚症状、他覚所見、X線所見、細菌学的検査、副作用について検討した。治療効果は、1回量が高い濃度になるほど良くなる傾向がみられたが、中等度改善以上においては、濃度差による有意の差は認められなかった。また今回の対象患者92名の中には副作用はみられなかった。